

## Gard Alert

### マラッカ・シンガポール海峡で軽窃盗が急増（続報）



こちらは、英文記事「[Gard Alert: Spike in petty theft incidents in the Straits of Malacca and Singapore](#)」（2015年9月1日付）の和訳です。

2015年8月24日付の「[Gard Alert：東南アジアにおける海賊行為が増加中](#)」で、東南アジアでの海賊による小型内航タンカーのハイジャック事件が引き続き増加傾向にあることをお伝えしましたが、今回はその続報です。先週発表されたアジア海賊対策地域協定(the Regional Cooperation Agreement on Combating Piracy and Armed Robbery against Ships in Asia [ReCAAP])の[インシデントレポート No. 07/2015](#)（英文）によると、マラッカ・シンガポール分離通航帯（TSS）を含む海域で8月21日と22日の夜に軽窃盗事件が多発した模様です。

ここ最近、燃料油・石油化学製品を積載した低速の小型内航タンカーに対する襲撃件数が増加していましたが、これまでとは異なり、シンガポール海峡を航行中のより大型の船舶が襲撃される事件が発生しました。今回の事件は、大規模な貨物窃盗というよりも、軽窃盗を意図したものであったようです。

被害に遭った各船舶は、インドネシア近くの西航路を通過中に襲撃されており、最初の襲撃から28時間以内（そのほとんどが夜間）に襲撃が実行されました。襲撃間隔の短さや近い場所での犯行であることを考え合わせると、いずれもナイフで武装した4~5人の海賊で構成する同一グループの犯行であると推測されます。これらの最近の襲撃（6件）のうち、船員の私物や所有物の盗難被害の報告があったのは1件だけでした。伝えられるところによると、海賊は船員に立ち向かって来たり、船舶の財産に損害を与えたりすることなく、気付かれるとすぐに逃走したとのこと。負傷者や犠牲者は報告されていません。

#### 推奨事項

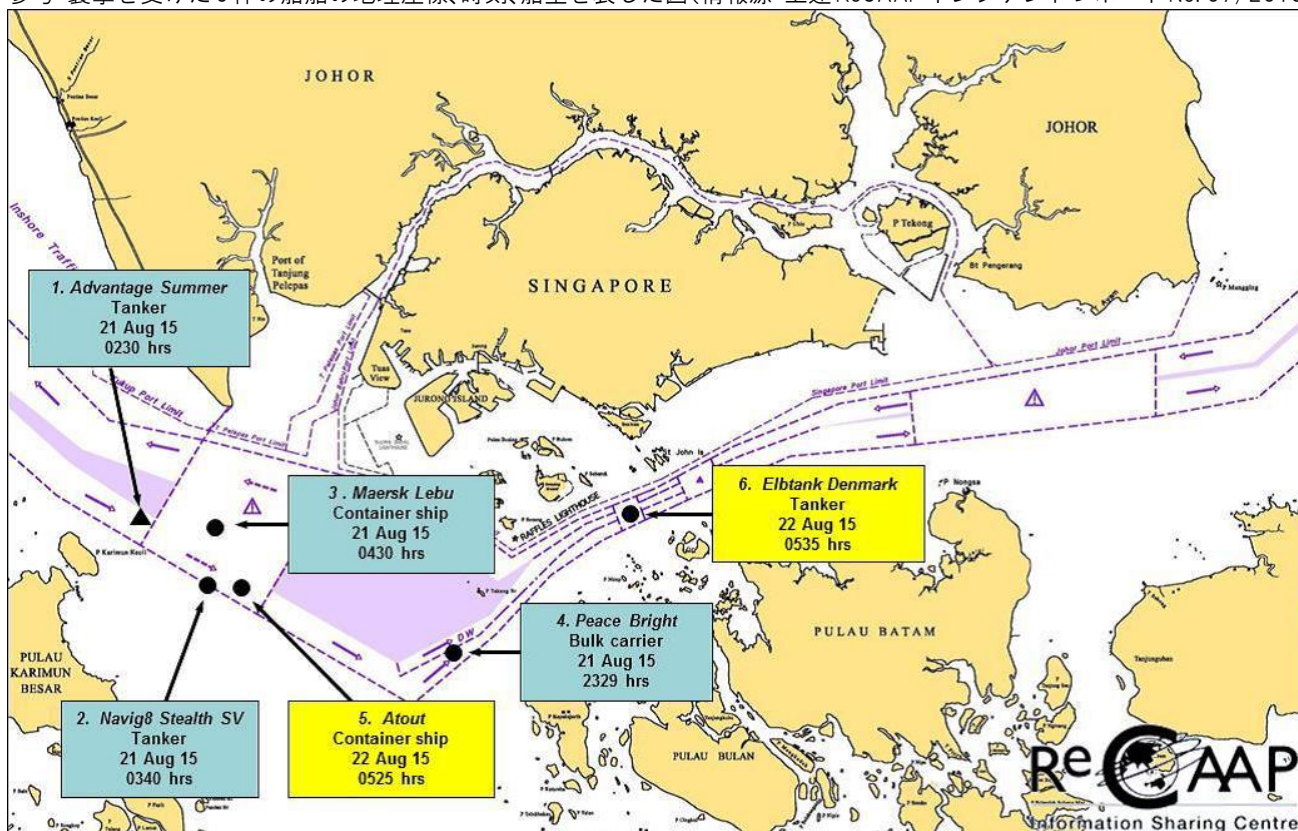
上記の襲撃事件のほとんどにおいて、海賊は気付かれずに乗船しており、このことは、マラッカ・シンガポール海峡通航中に船員が直面する課題となっています。海賊による船舶への侵入を防ぐには、特に夜間の乗組員による警戒と対応準備が重要です。したがって、同地域を航行する船舶は海賊の活動が活発化していることに十分に注意するとともに、下記の推奨事項を考慮してください。

1. リスク評価を実施して、脅威の特性や予定航路の見直し、船舶の脆弱性や防衛手段の検討、乗組員の能力や訓練レベルの診断を行うこと。特定されたリスク水準に基づいて対策を実施すること。

- 懸念される海域を航行する際には、警戒をさらに強め、監視を厳重にして怠らないこと。船員に対して、標準的な見張り手順に習熟させ、海賊対策の訓練や手順の演習を実施すること。
- すべての小型船の動きを目視とレーダーで監視し、疑わしい活動についてはすべてシンガポール船舶交通情報システム（Vessel Traffic Information System [VTIS]）に報告すること。

ベストマネジメントプラクティス（BMP4）は、ソマリアを拠点とする海賊への防御を目的に作成されたものですが、その内容や推奨事項の多くは東南アジアにも該当します。これらの推奨事項に従うことにより、安全水準の向上・維持と、不要なリスクの回避が図れるようになります。上記の事件のほとんどにおいて、乗組員に気付かれた強盗は何も盗らずに退散したことが報告されています。

参考：襲撃を受けた6件の船舶の地理座標、時刻、船型を表した図(情報源：上述ReCAAPインシデントレポートNo. 07/2015.)



本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。